

科目名	特別演習（葉山）						
	【卒業必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	通年	単位数	2単位
担当教員	葉山 亮三						

内容および計画	<p>幼児期における発達段階の変化に関心を持ち、それぞれの年齢時期に現れる造形表現、身につける造形能力の変化を学び、幼児の実態を把握する。造形素材、技法、作品を学び、ものづくりの持つ様々な表現とそれぞれのをねらいを理解する。幼児の立場、指導者の立場を模擬授業を体験することで考える。幼児に対して行う造形実践案について、内容と流れを検討し、考案する。一連の流れの中で、受講者の関心に即したテーマを設定し、各自研究を進め論文を作成する。</p> <p>ものづくり、造形教育の知識、技術を習得する。 実践的な活動を計画し、行う。 各自の研究テーマを設けて、考察し、論文を作成する。</p>						
	1	オリエンテーション					
2	ものづくりの歴史						
3	様々な表現法 ~立体~						
4	様々な表現法 ~平面~						
5	幼児の造形表現 ~作品鑑賞~						
6	幼児の造形表現 ~発達段階の理解~						
7	幼児の造形表現 ~学習指導要領~						
8	模擬授業 ~準備~						
9	模擬授業 ~体験~						
10	模擬授業 ~準備~						
11	模擬授業 ~体験~						
12	造形プログラム ~内容検討~						
13	造形プログラム ~プレゼンテーション~						
14	造形プログラム ~試作~						
15	造形プログラム ~準備~						
16	造形プログラム ~実践~						
17	造形プログラム ~振り返り~						
18	論文テーマの検討						
19	論文の作成方法 ~文献考証~						
20	論文の作成方法 ~データ結果のまとめ~						
21	論文作成 ~導入~						
22	論文作成 ~仮説~						
23	論文作成 ~検証~						
24	中間発表						
25	論文作成 ~中間発表を踏まえて~						
26	論文作成 ~考察~						
27	論文作成 ~まとめ~						
28	発表						
29	発表						
30	まとめ						

教科書	タイトル	特になし					
	著者名				出版社		
	ISBN				発行年		
	適宜、資料を用意します。						

参考書	適宜、紹介します。						
-----	-----------	--	--	--	--	--	--

成績評価	評価方法						割合
	受講態度（企画、発案、姿勢など）						20%
	提出課題						30%
	論文						50%

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 幼児の造形表現と発達段階について理解し、実践できる力を養う。・ 幼児の造形表現について研究し、論文をまとめる。
先修条件	
その他	各自が造形表現を楽しみ、伝える力を持ちましょう。